

「吃音 上手に付き合おう」

日本^{きつおん}吃音臨床研究会の会長、伊藤伸二さん(66) (大阪府寝屋川市)が、言語障害児教育に携わる教師15人との共著「吃音ワークブック どもる子どもの生きぬく力が育つ」(解放出版社)を出版した。

吃音は幼児期に数%の子どもが経験するとされるが、原因の特定や治療法の確立は十分ではない。自らも矯正に取り組み、苦しん

だ経験から、20年にわたって続ける親子サマーキャンプや、講師を務めた大阪教育大では、「吃音を否定せず、上手に付き合おう」「話すことで言葉の力を体験しよう」と説いてきた。

本書では、親や教師が子どもと一緒に取り組んできた実践例を紹介。「吃音でもコミュニケーション能力に優れた子を育てるのに役立ててほしい」と願う。

